

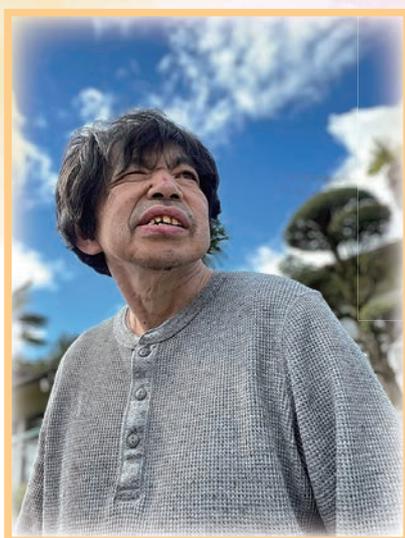
プリズム

一筋の光を七色の虹に変える、人は皆プリズム

笑顔部門

「ケーキなんてと思って
いたけど、いいもんだね」

撮影者：宮下 眞知子



キリっと部門

「いつだってかっこよく」

撮影者：竹内 知永実

「本当の気持ちに
出会うとき基金」
フォト部門大賞作品

ほんわか部門

「青空の下でのんびりと」

撮影者：保科 夏



CONTENTS

- 表紙 本当の気持ちに出会うとき基金 受賞作品
- P2, 3 きらりびと
- P4 お心主義実践日記
- P5 特集 ～仲間支援～
- P6 スタジオパレット
- P7 こちら明星学園通り一丁目
- P8 輪・和・わ！インフォメーション

表紙写真紹介

今年度もたくさんの応募の中から、「本当の気持ちに出会うとき基金」の大賞作品が決定しました。今回で4年目を迎え、毎年メンバーさん幸せな瞬間をたくさん見ることができます。それぞれの作品は明星学園事務所玄関に展示してありますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

きらりびと

「パティシエになりたい」

今回はそんな夢を持つYさんの紹介です。

数年前のYさんはズボンをおろしてしまふ、泣きまねをする姿がありました。新しいズボンを買ってきて、職員とお付き合いとしてシュシュ作りと散歩を行っても、行動は変わりませんでした。

何か新しいことに挑戦してみたいけれど、わがままだと感じているのではないかと？そんなわがままな人は叱られて当然だと感じているのではないかと仮説を立てました。相談すると、お菓子作りに挑戦してみたいと教えてくれ、職員にも応援してもらいながら、毎月担任と料理の練習を重ねてきました。



自分で作ったお菓子を販売することに決めて、出来ない部分は職員さんに手伝ってもらいながら作ったよ！販売するのはドキドキしたけど、職員さんも応援してくれて、「すごいね！」「おいしかったよ」とたくさん言ってもらえて嬉しかったよ。パティシエになる夢に向かって、頑張っています。



お菓子販売を通して、普段の生活にも変化が見られています。お化粧を女性職員から教えてもらい、今では自分でお化粧をしたり、服装もジャージから毎日おしゃれな服になり、毎日素敵なYさんの姿を見ます。また、以前はスケジュール通りに過ごしていましたが、自分の好きな時間に居室に戻ってテレビを見たり、時にはフロアに来てみんなと過ごしたりしています。「こうしていなければならない」から「こんなふうに過ごしてみたい、やってみたい」という思いに変化してきたと感じています。



伴走者の声

今年はクッキー作りに挑戦したいとの事です。Yさんの、自分からこんな風に過ごしたいと希望を伝えて夢にむかって実現していく前向きな姿を受け、職員も前向きに頑張っていこうと改めて感じさせてもらいました。

担任 小木曾 裕太



学園のアーティスト、I.S さんを紹介します。



見てよ!この真剣なまなざし。絵を描いているときは集中して一日色鉛筆とペンで好きなものを書いているんだよ。



僕は数年前まで部屋で過ごすことが多かったんだ。絵を描くようになって描いた絵をみんながすごいねって誉めてくれたから僕もクラスの仲間になれた気がしたよ。

この前は僕主催で焼きそば大会もやったんだ。

僕はもう三年も自治会長をしているんだよ。きらめき祭では、カラオケの司会をやったりしてみんなを盛り上げてるよ



夜勤の職員と朝まで職員室でお話しする日もあるよ。誰にも邪魔されずお話しできるから嬉しいんだ。



絵を描くときも一人じゃないんだ。クラスの仲間に囲まれながらフロアで一日中描いているんだ。



「初めは職員さんが下絵を出してくれて、そこに塗り絵で色を付けていたんだけど、自分でも真似て描いたら、びっくりするくらい素敵な絵になったんだ。」



伴走者の声

学園に入所した3年前は、コンビニで弁当も自分で選ぶことができなかったI.S さんですが、今では自分の好きな絵を描くことができ、好きな職員とおしゃべりを楽しむことができるようになりました。これからはI.S さんの自己選択力、自己決定力がさらに伸びるように応援していきたいと思います。

担任 片桐 英治